

(参考様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム さわらび

作成日： 令和 7年 7月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	36、 45	コロナ禍を経験した事で感染予防への意識がまだ強く、外出する機会がまだ少ない。	近隣から遠出を含め、外出機会を設けていく。	・買い物の際に同行して頂くなど、少ない人数から実施していく。 ・外出時の感染予防対策の周知	6ヶ月
2	2、 20、 48	上記1に関連し、地域・ボランティア・外部等との交流する機会が減っており、以前のような交流機会に戻せていない。	少人数のボランティアから受け入れを行う。 地域の催事に参加していく。	・ボランティア一覧から希望する支援内容を確認。要請カードを申請する。 ・地域行事の情報を集め、参加できるよう調整する。	6ヶ月
3	34、 35	薬の重要性は理解しているが、一人ひとりの既往まで十分把握できていない。	個々の疾病について把握でき、内服薬への理解を深める事ができる。	・個々の再アセスメントを行い、既往について把握する。 ・疾病に応じた一般的な処方薬の種類と副作用について勉強会を実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。